

District 2770



世界に希望を生み出そう

会長：佐久間 誠  
幹事：橋本 政行

# Weekly Report

2023～2024 越谷東RC運営方針

**挑 戦** ～未来は今始まる～

2023～2024 RIテーマ

**世界に希望を生み出そう**



越谷東  
ロータリークラブ

創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30～13:30  
〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)  
☎ 048-965-2037 ㊚ 048-965-2011  
<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

## 第1751回例会 2023年9月28日

司会：会場運営委員会／竹内 達也  
会報No.1537号／担当：委員一同

会員数：56名／出席率：71.15%

### 基本的教育と識字率向上月間

#### 会員卓話



たかはし いさお  
高橋 功 会員



あわや ゆうじ  
粟屋 裕二 会員

#### プログラム

- ◆ 黙 想
- ◆ 開会点鐘 会長 佐久間 誠
- ◆ ロータリーソング斉唱 「我等の生業」
- ◆ クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(1番)
- ◆ 会長挨拶 会長 佐久間 誠
- ◆ 委員会報告 各委員会  
(コーヒーブレイク)
- ◆ 会員卓話 高橋 功 会員  
粟屋 裕二 会員
- ◆ スマイル報告 社会奉仕委員会 五十嵐久幸
- ◆ 出席報告 出席委員会 山崎 勝己
- ◆ 閉会点鐘 会長 佐久間 誠

#### 会長挨拶

会長 佐久間 誠



9/24(日)に家族親睦として越谷レイクタウンにてバーベキューを行いました。親睦委員長の石渡さんを筆頭に親睦メンバーの皆様の企画、準備のおかげで大成功でした。家族の皆様も大変喜んでいらっしゃいましたの

で、何年も何十年もずっと続けてくれたらいいなあと思  
いました。親睦委員会の皆様、有難うございました。

9/26(火)青少年奉仕委員長の鈴木さんと会長幹事で  
越谷東高校インターアクト部の活動報告会に参加して  
きました。まずは部員が45名も居る事にびっくりしま  
して、顧問の先生に聞きましたら、他クラブに比べてラ  
クなクラブなので人気があるとおっしゃってありまし  
たが、先日のインターアクトの大会でsnsやネット通販  
の危険などの発表を拝見させていただき、地区の中でも  
一番と言っても過言ではない発表をしておられました。  
部員達が日頃一生懸命学んでる成果だと思えます。ま

た、韓国との交換学生の募集の説明もしてまいりました。

私事ですが10/1(日)に一級土木施工管理技士の実地  
試験を受けます。これは学科を合格した者が受けれる試  
験なのですが、勉強もせずに7月に学科を受験したら合  
格してしまい、チャレンジする事になりました。8月半  
ばに学科の合格発表があり、1.5ヶ月の準備期間があっ  
たのにもかかわらず、10日前から勉強し始めまして、  
時間の足りなさを実感し、怠けた事を反省し後悔して  
おります。今年はダメでも来年はしっかり勉強をして合格  
したいと思います。

人生は常に勉強ですね！

## 会員卓話



たかはし いさお  
高橋 功 会員

1. 会員名：高橋 功
2. 会社名：高元都市開発株式会社
3. 職 種：
  - ・ 宅地建物取引業
  - ・ 総合ビルメンテナンス業
4. 設立年月日：昭和55年9月
5. 従業員数：  
正規事務員1名・パート社員1名(妻)合計2名  
※私を含めて3名で運営しております。
6. 創業の経緯：高元建設株式会社の関連会社と  
して設立  
※高元都市開発に関するものは太字、私個人に  
関するものは月まで記載
  - ・ 明治35年 高橋啓吉(曾祖父)により、越ヶ谷  
本町に鳶高橋を鳶職の志である「義理と人情  
とやせがまん」のもと創業  
※その精神は脈々と受け継がれています。
  - ・ 昭和18年 啓吉逝去により元吉(祖父)が継承
  - ・ 昭和48年 家業を法人化し、株式会社高橋組  
を設立  
元吉が代表取締役に就任
  - ・ 昭和55年 株式会社埼玉土木の敷地内(増林)

### に越谷興業株式会社（現高元都市開発株式会 社）設立

- ・ 昭和60年 元吉が「現代の名工」として労働  
大臣賞を受賞
- ・ 昭和63年 昭和61年元吉逝去の後、商号を  
設立者の名前を取り、高元建設株式会社に変  
更し、奨(父)が代表取締役に就任
- ・ 平成3年 越谷興業株式会社を高元都市開発  
株式会社に商号変更
- ・ 平成4年4月 西松建設株式会社へ入社 勤務
- ・ 平成10年2月 高元建設株式会社へ入社 勤務
- ・ 平成14年 創業100周年を迎えた
- ・ 平成18年1月 越谷東ロータリークラブ 勝  
手にゆきだるま参加
- ・ 平成18年4月 高元建設株式会社 取締役就任
- ・ 平成18年7月 越谷東ロータリークラブ入会
- ・ 平成19年 株式会社埼玉土木と合併
- ・ 平成20年10月 高元都市開発株式会社 代表  
取締役に就任  
※当時の社長が退職した為、高元建設株式会  
社において総務部に籍を置き会社運営に携  
わっていた私が当面の間、高元都市開発の  
代表として会社運営することとなった。
- ・ 平成22年 高元都市開発株式会社 定款を大  
幅に変更  
※事業内容を見直し拡張することにより、多く  
のお客様の要望に対応する事が可能となった。
- ・ 平成24年 和彦(弟)が代表取締役に就任

奨が会長に就任

- ・令和3年 奨会長が藍綬褒章を受章
- ・令和4年 創業120周年を迎えた
- ・現在に至る



緑色のポストが目印の気さくな会社です。お客様のお役に立てる会社としてご希望に沿ったスピーディな対応を心掛けております。お気軽にお立ち寄りください。

皆さんこんにちは。

7月第一例会に大野委員長より「功ちゃん！9月28日の会員卓話宜しくねえ。」とのお言葉を頂き「ハイ喜んで！」の一言でお受けした高橋功です。

まだ先だと思っている間に、あっという間に家族親睦BBQの日になってしまいました。「木曜日は卓話だからね！」と念を押して頂き、さて何をお話させて頂けば良いのやらと考えておりました。

そこで例会出席率の悪い私は、改めて自己紹介と会社紹介をさせていただきます。

実は入会は大野パストと同期ですが出席日数が足りないので、なかなか徳を積むことが出来ておらず、特に新しい会員の皆様には、あの人だれ？といった感じではないかと思えます。この卓話を通じて少しでも仲間として受け入れて頂ければ幸いです。

私は平成10年に西松建設を退職し、父の経営する高元建設へ就職致しました。どっちが修行なのか、給料も下がり新入社員研修まで受けることとなりました。

高元建設では、工事原価管理など当時まだ会社に数台しか無いパソコンを使って業務を行っておりました。その後、財務システムなど総務関係の業務も電算化され、パソコンも一人一台の時代へ

となります。

最初は電源を入れると壊してしまうと思っているような社員に、パソコンの触り方からレクチャーしたのを覚えております。

平成18年に8年務めて取締役就任することとなり、7月には東クラブにも入会させて頂きました。諸先輩方を見ても、ロータリークラブは40歳になってから入会する会と考えておりましたので、まさか39歳に入会させて頂くことになるうとは、思いもありませんでした。

緑の始まりは軽い親睦のつもりで参加した「勝手にゆきだるま」です。大阪から埼玉へ嫁いできた妻にとっては、苗場プリンスホテルに宿泊してスキーをするなど、夢のような話でしたので大喜びだったのを覚えております。帰ってきた翌日が夜間例会で、入会前の私たち夫婦を招待して頂いたのですが、仕事の都合でその席には妻のみがゲストとして参加させて頂きました。つまりロータリークラブの例会に出席したのは妻が先でした。

気が付けば原年度の第一例会から出席しており、年度計画書の会員名簿にはしっかりとメンバーとして記載されておりました。感謝！

入会2年目となる野口年度に職業奉仕委員会の企画として毎月一回、会社紹介をして頂くこととなり、卓話者のパワーポイントを作成させて頂いたこともありました。その節は自社の写真を探して頂いた卓話者の方にはお手間をお掛けいたしました。

私もその時以来の会社紹介ですが、当時は高元建設に居りましたので現在勤務している高元都市開発をご紹介させて頂くのは初めてとなります。

今回もパワーポイントを作成するべきでしたがパソコンの調子が悪く、作成できませんでしたので、お配りしたプリントでご了承ください。

思えばこの頃が転機だったのか、平成20年には高元都市開発の代表を長く勤めて頂いた方が急に退職し、多少ですが総務経理の経験がある私が今の会社の代表として急場を乗り越えることとなりました。

## 会員卓話

最初は様々なご縁で資格を取得されている方にご協力頂いておりましたが、会社の規模も小さいことから、私が資格を取らない未来の無い状況でした。

そこで資格取得に向けて学校へ通い、大学受験以来の試験勉強に打ち込む日々となりました。たまたま妻も出産で実家に帰っておりましたので、家庭を気にせずに課題をこなし、どうにか資格は取得できました。

しかしながら試験勉強以外、不動産業の経験が皆無の私には売買や仲介で会社を安定させるのはとても難しいことでした。

そこで知人からのアドバイスもあり、少しでも経験のある建築の知識を活かし、総合ビルメンテナンス業に積極的に取り組むことといたしました。

始めてみると仕事はそんな甘いものではなく、私の経験などビルメンテナンスの業務には若干役に立つ程度の狭い経験でした。

トラブルは24時間365日待たなし、建築では経験しないような害虫のことや環境衛生のことなど、病院や福祉施設では設備の異常が人命に係ることもあるなど、思うと緊張の毎日でストレスに潰されそうになって仕事をしておりました。

社内的にも当時勤務していた社員の不正やトラブルで人間不信に陥って、ノイローゼになることもありました。

今こうして過ごせるのも、多くの諸先輩や仲間にも励まされ、尻を叩かれたからこそです。これまでどんなに多くの人に支えて頂いてきたか、感謝しかありません。設備工事では田中さんに大変お世話になっております。

中でも一番私の救いとなったのが青木パストの言葉でした。青木さんは社員に対して常に会社はトラブルが有ることが当たり前で、無いことが異常なんだと話している。高橋君もそう思って仕事に向き合えば、それが普通のこととして対応できるようになる。そう言ってくださいました。

なんだか沢山のわだかまりが晴れた思いでした。今では、弊社の仕事は「お客様の不安を取り除く

お手伝いをする事」であると考えようになりました。

急場しのぎで2年程度務める予定が、もう15年になります。この卓話を纏めながら、「人生は何かがあるか分からないが、人との繋がりがあればなんとか乗り越えられるものである」と改めて痛感いたしました。

卓話というよりは愚痴となってしまいましたが、これまで支えてくださった越谷東ロータリークラブの皆様をはじめ、多くの諸先輩や仲間へ感謝し、本日の卓話とさせていただきます。

ありがとうございました。



あわ や ゆうじ 会員  
粟屋 裕二 会員

本日は、このような発表の場を設けていただきありがとうございます。

わが社は運送会社ですが、主に厨房機器を運んでおり、搬入設置まで行います。「今日は幸運です！」この言葉は、何年か前に兄が電話に出るときによく言っていた言葉です。会社名協和興運（きょうわこううん）と響きが一緒なのです。父も兄も口をそろえてうちの会社は運がいい！と言います。社名のおかげではないと思いますが、いい言葉だなと思っています。

創業者は、私の祖母の弟です。祖母の葬儀の際、久しぶりに顔を合わせた父に、男子がいなかった叔父から後を継がないかという話があったそうです。その時点で叔父はすでにがんを患っていたそうです。跡を継ぐ話が決まり、広島から埼玉に引っ越すことになりました。私が中学校に入る40年近く前です。

創業当初から厨房機器配送をメインで行っており、4号バイパス七左町交差点そば、現在ダイワハウスのビルがある場所あたりに大和冷機工業と

いう厨房機器メーカーの営業所があり、その建物に事務所を間借りしていました。当時周りは田んぼだらけで今とは全然ちがっていました。

その後、叔父がなくなり父が社長に就任しました。運送だけでなく、搬入設置までできることがわが社の強みで、創業以来赤字決算をしたことがないと言っていました。業績は順調に伸びていましたが、バブルに沸く日本で、給料もどんどん上がる時代だったそうで、わが社でも給料値上げの社内ストライキがおこり、この時従業員25人のうち15人くらいがやめてしまい、これが初めての会社存続の危機だったそうです。

それ以外にも運送会社ならではの自動車事故として、人身事故、トラック横転、ウイング開放でのオーバブリッジ破壊など中小企業としては、どれも廃業につながりかねない大きなでき事がありました。運がいいことに大事に至らず、何とか営業を続けています。

私から見た父は、商売上手ではありません。新しいものに飛びつくわけでもなく、リスクのあるような大きな投資もしませんでした。そのうえ、自分の会社が儲からなくなっても、お客様にとってその方がいいと思えば正直に言う人です。でも考えてみると、そのおかげでピンチの時にも、助けていただいたり、踏ん張る余力があったのではないかと思います。売上の半分以上を占める得意先から直接取引を切られ、下請けしながら仕事を探していたところ、新たな仕事を請け負い、成長するきっかけとなったそうです。

2011年、東日本大震災や新会社の設立があり、翌年社長交代となりました。

兄が社長になってから、10年を超えました。兄が入社して25年。父と二人三脚で安定した仕事確保の為に、運送だけではない仕事により進んでいったようです。大型車で自動車部品を運ぶ仕事もしていますが、価格競争や合理化で決して安定しない仕事に比べ、それほど営業しなくても、ある程度の仕事は確保できています。ただし、そ

の分技術が必要なので、人の採用もままなりません。入社しても1人前になるまで時間もかかります。

ここ数年はコロナとの共存ですが、うちの会社は陽性率が高く、半数近くがコロナを経験し、10人くらいは2回かかっています。社長も私も2回かかりました。

そして現在の状況ですが、社長が採用を増やすには、会社のイメージアップが大事、そのためにはうちの仕事を知らせてもらうことが大事だ！と言って、YouTubeを始めたので、まずはその動画をみてください。<https://www.youtube.com/@kyowa-express>

人の問題は創業以来常に抱えていますが、2024年を迎え、運送業界は新たな問題に直面します。年間残業時間960時間以下にしないと懲役または罰金です。960時間月80時間って聞くと、そんなに残業してない業界も多いと思いますが、わが社ではかなりの人数が実際にそれ以上残業しています。守れなかったとしても、お役所もすぐに営業停止！なんてことは言わないと思いますが、会社としても長時間労働改善は従業員のために実現しなければなりません。

これまで会社紹介をされた方も言っておられる方がいらっしゃいましたが、わが社も顧客満足より従業員満足優先です。お客様を軽視しているのではなく、満足していない従業員にいい仕事はできないという考えです。家とか車とかもそうですが、厨房機器の搬入設置が終わると、お客様の喜んでいる姿を見ることが社員にとっても仕事に対するモチベーションアップにつながっています。もちろん生活のためには給料も大事です。労働時間が減ったからと言って、給料も減りますでは満足してもらえません。

全ての従業員が100%満足するなんてことは夢かもしれませんが、これからも社長と一緒に追いつけていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

今 回 22,000円

累 計 269,000円



次回例会のご案内

第1752回 10月5日

結婚・誕生祝い  
米山梅吉物語 / 米山記念奨学委員会

